1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　SSKU　通巻第 5996 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-3337

シャケ Zo くん

SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2018 年 2 月号　No.203

？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

リボーンプロジェクトは、総合支援法にもとづく就労移行支援事業であるが、昨年末、往来のあった埼玉・越谷の職場参加参加を進める会は制度を活用しない形で、独自の市民活動で地域の商店や企業に直接就労を創ってこられた。その立場からどのように見えたのか、その感想をお聞きした。

◆外からみたリボーンの就労支援◆
“地域をＯＪＴの場”としてきた立場から

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会　事務局長　山下浩志

はじめに、NPO 法人わくわくかんのみなさんに、心から感謝をささげます。これまで、わくわくかんについてほぼ存じ上げず、共同連等に関わる方々と話を交わした程度の関係であったにも関わらず、昨年 11 月 28 日には当会から 16 名の「見学交流デイツアー」を受け入れて、一日付き合ってくださいました。そして、12 月 17 日には、当会主催の「共に働く街を創るつどい２０１７」に、リボーンプロジェクトの担当職員である深坂さんを派遣してくださいました。深坂さんには、「地域共生への現在と就労移行支援に問われること～わくわくかんの実践を踏まえて～」と題して、特別報告をいただき、パネルディスカッションにも参加していただきました。

当会のこれまでの経過を知る人は、「え？！職場参加をすすめる会が就労移行支援事業やるの？」とびっくりして不思議はありません。当会は、越谷市から同市障害者就労支援センターの運営を受託し、2014 年度まで 10 年間事業を行ってきましたが、それはセンター事業の一環に、福祉施設等の利用者が地域の職場に多様な形で参加することを支援する事業とピアサポートによる就労支援事業を組みこませることができたからです。

その時点では、障害者を一定期間訓練して一般就労に結びつける就労移行支援事業を自らやるつもりなど毛頭ありませんでした。「訓練して能力を見極め（一部が）就労へ」という発想ではなく、「（誰もが）多様な就労を含む職場参加をしながら、本人だけでなく地域・職場も『訓練』する」の発想に基づいて、障害者の自立生活と共生を進めてきた団体や親の会関係者、医療関係者、障害者就労支援関係者、事業主等が連携し、当会は結成されました。

越谷市が中核市となり業務が増え、厳しい環境の中で、当会がめざしてきた「自治体ぐるみの職場参加」の道は頓挫しましたが、これまでの 10 余年で地域のあちこちに形作られてきた生協や市民団体、事業主等の職場参加拠点をつなぎ拡げてゆくセンターとして、就労移行支援事業に取り組む準備を進めています。

とはいえ、志は別として、普通の就労移行支援事業者の仲間入りすることは確かです。にもかかわらず、まだ実感が薄いままです。その点で、11 月 28 日にどやどやとお邪魔させていただき、百聞は一見に如かずの機会を与えていただき、悩みは増えましたが思考が具体的になりました。わくわくかんでは共に働く関係の持続をめざし就労 A を立ち上げ運営しているが、行政の無策により厳しい状況にあることも教えていただきました。成り立ちも現状もまったく異なる私たちだが、ふところの広さという点では共感しあえそうです。これからも、互いを鏡としながらおつきあいさせていただけたらと思います。

＜わくわくかん２月予定表＞

- ✧　1 月 30 日（火）企業との面談会　14：00～　東京新卒応援ハローワーク　主催：労働局
- ✧　2 月 10 日（土）はたらっくす　16:00～（自立訓練室）
- ✧　2 月 16 日（金）都精民協講演会　14：00～　都庁第一本庁舎 5 階
- ✧　2 月 26 日（月）現場協議会　16:30～（スカイブリッジ）
- ✧　2 月 27 日（火）家族懇談会　15:00～　事業所見学（予定）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 5996 号

わくわく配食サービス

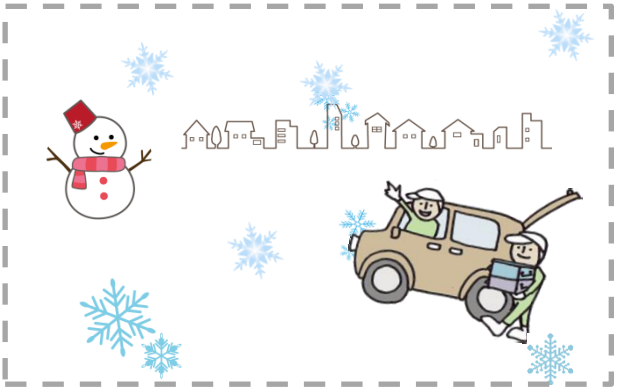
就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

大雪の日、厨房に早出をし無事に配達

顧客を守る配達員やドライバーさんの努力

1 月の終わりに、大雪が降りました。大雪が降ったことで、電車も止まり帰宅困難者が出たりと大変な状況でした。こうした日は、配食サービスではいつもと違う動きをしないといけない状態になります。

配食サービスでは、普段は昼・夕の配達を車と自転車で行っています。雪の日は自転車での配達は危険でできません。車もチェーンを巻いての配達になり、安全運転に気をつけながらの配達になるため、いつもより配達時間がかかります。そのためできるだけ、早く配達に出られるように厨房では早出をしてお弁当を作る必要がでてきます。今回も、厨房のスタッフは朝 7 時から出勤でした。午後も 12 時 30 分から盛付をし、いつもより早く配達できるよう時間を調整し、配達をする配達員もドライバーさんも昼休憩が少ない状態で夕の配達にでることになりました。こうした働く方々のご協力と連携により、今回も無事に事故なくお客様にお弁当をお届けすることができました。



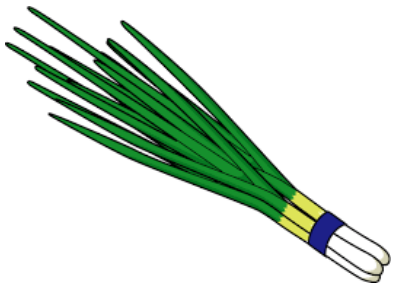
3.11 の震災の際も、食材がない中おにぎりセットをお届けしました。お弁当を注文して下さる方は、こういう時にこそお弁当が必要であろうという配食サービスの総意でそうしたサービスを提供できたと思います。自然災害は、ない方が良いのですがもしそうしたことがあればできることは今後も行っていきたいと考えています。

九条ねぎとタコのぬた

【材料】
九条ねぎ――1/2 束
ゆでダコ（スライス）―適量
酢みそ
- 白みそ――――大さじ３
- 酢――――大さじ２
- 砂糖――――大さじ２
- みりん――――大さじ１
- ねりからし―大さじ 1/2

【作り方】
① ねぎは食べやすい長さに切り、サッとゆでる
② 酢みその材料をすべて合わせる。
③ ごまは炒ってすっておく
④ ①のねぎとゆでダコを器に盛り、②の酢みそをかける。

ね　ぎ



ぬめりは甘みとやわらかさ

古くから薬用野菜として利用され、白い葉鞘部にはビタミンＣが多く、緑黄色野菜に分類される緑の部分にはカロテン、カルシウム、ビタミンＫなどが豊富です。切ると、ぬめりが出ますが、これは甘みとやわらかさのもと。煮るとトロリとした食感に。食物繊維もたっぷり含まれているので、便秘の改善にも効果あり。風邪やストレスで体が弱っているときは意識して食べてみては。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　SSKU　通巻第 5996 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

「今年の一文字」

響のプログラムには「書道」があります。2017 年最後のお題は「今年の一文字」と「年賀」です。墨をすり、毛筆で半紙に書きます。
「年賀」を仕上げ、いよいよ「今年の一文字」。
作品は「北」「迷」「惑」「食」「走」「片」「良」となりました。中でも「迷」と「惑」は並べると熟語になってしまうので、離して展示しました。
皆さんの思いが良く伝わってくる作品でした。

（Y.O./Y.H.）

プランターの植え替え

—障害者センター裏—

12 月 5 日、プランターの植え替えを行いました。プランターは 4 つあり、それぞれ 4 チームに分かれました。あるプランターでは、巨大なナメクジを発見！！メンバーK さんは固まり、H さんが除去することに･･･。

花は様々な色があり、色どりよく分けました。土いじりは思った以上に楽しく、みんな笑顔で作業しました。しかし後日プランターの掃除をしていると、花が抜かれていました。ひどい事をする人もいるものですね。こういった事はやめてほしいものです（怒）。

（O.M./K.A.）

クリスマス会報告

昨年の 12 月 15 日にクリスマス会がありました。クリスマスの一週間前にごちそうやジュースなどを買い出しに行きました。ごちそうのほとんどが冷凍用品だったので、当日にナゲットや竜田揚げやポテトの班に分かれたり、温野菜などを温めたりケーキを作る班に分かれました。ケーキはスポンジを買い、クリームをあわだてたり大変そうでした。しかし、どの班も 12 時前後にごちそうを作り終え、とてもホっとしました。その他にもピザなどのごちそうもあり、大いに盛り上がりました。

午後は今年の響の流行語決めやビンゴなどを行い、流行語は「若様」に決まりました。（あるスタッフのニックネームです）

ビンゴ大会は事前に響の皆がそれぞれプレゼントを買って、マジックで番号をつけ、ビンゴになった人は番号のクジを引き、その番号がついたプレゼントを受け取る仕組みでした。今年のビンゴ大会も去年のビンゴ大会もスタッフ K さんがなかなかビンゴにならず、大変そうでした。とても充実した一日でした。

わたくし H.T.はビンゴで当てた商品が予想外のものでビックリしました。なんとそれはキャラクターの大きなクッション。家の中で大きな顔をしています。大切に使おうと思っています。

（K.O./H.T.）

ケーキを頂きました！！

12 月 20 日（水）、協和冷熱工業株式会社の方から、ケーキを寄付していただきました。今年は 2 台のケーキを響メンバーとスタッフで分け合っていただきました。スタッフ K さんがカットし、イチゴをきれいにデコレーションしてくださいました。一人 1／6 個とボリュームたっぷり！昼休みにケーキで元気をチャージし、午後の大掃除にのぞみました。

〈ケーキを食べた感想〉

・思ったより大きなケーキを頂けて良かったです。おいしかったです。（A.K.）

・ボリュームがあって、イチゴ、生クリームなど大変おいしかった。（H.T.）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 5996 号

就労移行支援事業
リボーンプロジェクト

〒114-0032　東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター４F　Tel : 03-5963-6888

近場の王子神社へ初詣

髪の神様には興味津々…

仕事始めには、会社でも初詣をすることは珍しくありません。ということで、リボーンプロジェクトでも１月５日の新年１回目の研修枠で、近場ですが王子神社へ初詣に行ってきました。

髪の神様

王子神社

破魔矢

行く前に王子神社について調べてみると、東京十社の１つに入る神社だったことが判明。
御神徳は「開運除災」「子育大願」。そして末社の関神社には、全国でも珍しい「髪の祖神」が祀られています。創建は詳らかではありませんが、1322 年には景観を整えたとされているので、今年で 696 年、東京の北方を守護して下さっている神社になります。

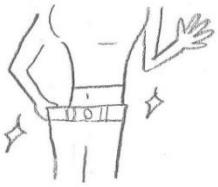
この日は新年早々とても寒い日で、人も少ないだろうと思って行ったのですが、意外にも次から次へとお参りに来られていて、朝から賑わっていました。着いてすぐ順番に水舎でお清めをして、参拝をしました。参拝し終わると、おみくじを引いたり、末社の関神社の参拝をするなど、短い時間ではありましたが、王子神社を堪能することが出来ました。特に関神社は髪の神様ということもあり、行く前から興味津々。ほとんどの方が『これからも健やかな髪でありますように…』と願掛けをしました。そして、リボーンでも破魔矢をお受けして、オフィスの中央に飾らせていただいています。

今年も良い一年に出来るよう、皆で協力をして頑張っていきます。

新年、年はじめのミーティングで今年の目標と決意を一言ずつ聞きました。

2018 年の目標

・行動的な年にします。（S.A）
・就職する！！！！！（K.Y）
・疲れてもしっかりやる。（O.T）
・物事に長時間集中力ややる気を落とさず生きていく。（U.F）
・健康で１年過ごす！！楽しい１年にする！！（K.H）



・今年で就職したい。就職が長く続けられるようになりたい。（K.S）
・体重があと 10 kg落ちてお腹まわりがスッキリしますように。（カットも）（K.M）
・無理をしないがあきらめず前へ進む。（S.H）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　SSKU　通巻第 5996 号

第 10 回　わくわくかん　家族懇談会のお知らせ

開催日時：　2018 年 2 月 27 日（火）15:00～（予定）
場　　所：　事業所見学（予定）
内　　容：　障がい者雇用の現状③（詳細は家族懇談会のご案内にて）
個人面談：　外出のため実施なし
連 絡 先：　TEL　03−5963−6888　FAX　03−3906−9997

グループホーム～年越しお食事の会～

◆『年越しお食事会とは？』

皆さん、年末・年始はいかがお過ごしになられましたか？ご家族と一緒に過ごす方が多かったのではないでしょうか？普段、離れて暮らしている家族や親戚が一同に会する機会でもあります。しかし、ここグループホームわくわくかんではいろいろな事情で家族と過ごせない方がいらっしゃいます。それは入居者の皆さんだけでなく、遠い故郷に帰らず一人東京で暮らす世話人も一緒。年越しお食事会を開催して皆で一緒に行く年来る年を楽しむ企画です。

◆『参加者』

毎年、「ホームで一人年を越すのは寂しい。」と言っていた入居者Ｉさん。移転して新しくなった男性ホームお披露目も兼ね、食べて・飲んでゲームして…、きっとお食事会の案内にＩさんはさぞ喜んでもらえると思っていたら、「通所先を休みたくないから、お食事会は参加したくない。」との返答が。世話人ショッキング！Ｉさんの通所先は、年末年始も休まず営業。他の皆も、何かと予定がありお食事会は不参加とのこと。唯一、男性入居者のＳさんが「別に良いですよ」

と言ってくれました。ありがとーＳさん！寂しい世話人に、入居者さんが付きあってくれる形で何とか決行！

Ｉさんは通所先がフル営業
Ｓさんはお好み焼きに専念

◆『お好み焼き』

たかがお好み焼き・されどお好み焼き、とにかく手際の悪い世話人Ｎ＆Ｆ＆バイトＤを尻目に、入居者Ｓさんの鮮やかな手捌きで、次から次へとお好み焼きが焼き上がります！それを次から次へと食い尽くす。ひたすら入居者Ｓさんがやいてくれたおかげで、あっという間の 2 時間で皆お腹いっぱい！

◆『後日談』

入居者Ｓさんに世話人Ｎが「お食事会、楽しかったね！」と言った所、

入居者Ｓ「美味しかったっすね。」

世話人Ｎ「楽しかったね！！」

入居者Ｓ「旨かったっすね。」

世話人Ｎ「楽しくなかったのっ！？」

入居者Ｓ「みんな食ってばっかで、俺は焼いてばっかで、楽しくなかったけど旨かったすよ。」

Ｓさん本当に本当にごめんなさい！でも器用で手際の良いＳさんが一際輝いていたお食事会になりました。

１月はたらっくす報告

1 月のはたらっくすは 13 日（土）16～18 時にわくわくかんで行われ、参加者は 3 人でした。フル就労の求職活動をしている方もいて、頑張って欲しいな、と感じました。

「働く」という事は生活の一部で、生活という物はもちろん楽しい事ばかりではありません。辛い事や大変な事も生活には沢山あります。それらと上手く付き合ったり、いなしたりしながら仕事も両立してやっていかなければなりません。そこで「お酒」という物が出て来ます。日々のストレスを発散させるために、お酒にスリップする人が仲間に沢山います。アルコール依存症になってしまったら、それこそ大変な事になりますが、そこにいかない程度にたしなんでいる当事者は沢山います。私も自分で果実酒を作る程ですが「お酒は仕事の前の日には飲まない」「飲酒は週 2 日以内にする」を今年の自分での取り決めにしました。年末に仕事面でお酒で大失敗したからです。それでも前向きに仕事を頑張って行きたいです。

次回のはたらっくすは、2 月 10 日（土）16～18 時にわくわくかんで行われます。働いている方と働きたい方が対象です。時間内にいつ来られてもいつ退室されても自由です。あなたの参加をお待ちしています。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 5996 号

ボランティア響会（自立訓練）のTさん

初めての外出プログラムに参加して…

ボランティア響会（自立訓練）のメンバーＴさんは、ひびきの利用前、精神科病院に入院されていました。退院促進事業の制度を利用して、12 年間の入院生活を終え退院されました。1 人暮らしを始め、ひびきの通所が始まり 2 年半が経ちました。ひびき以外に、ヘルパーさんの家事支援や通院介助のサポートを受け、地域生活を送っていらっしゃいます。近くの商店街に買いものに行くことや、自由にテレビを見ることを日々の楽しみにされているようです。

Ｔさんは、利用し始めてから、一度も外出プログラムに参加されたことがありませんでした。しかしこの度一年に１度の「スペシャル外出」に参加されました！その時の感想をお聞きしました。

・今まで外出に参加していなかったのはどうしてですか？
　足が悪いので、普段はシルバーカーを押して歩いています。エスカレーターに乗ることも難しく、他の人の足手まといにならないかと思い、行くことをためらっていました。

・今回スペシャル外出に行こうと思ったのはどうしてですか？
　年に１回、しかもひびき在籍中最後のスペシャル外出ということもあり、スタッフＫさんの強い切望に押されて行くことになりました。家まで迎えに行きますと言われました。（笑）

・不安だったことはありますか？
　池袋駅で地上に出るのにエレベーターがあるかないのか心配でした。

・実際に行ってみてどうでしたか？
　全て順調で、スムーズに電車に乗れ、エレベーターも利用できました。エスカレーターに乗れなくても、どうにかなると分かりました。

・外出先ではどんなことをしましたか？
　ボーリングを 40 年ぶりにしました。足が悪くてボールを投げられないと思いましたが、やってみたら意外とうまくできました。楽しかったです。

電車やエレベーターに乗れた！！

・外出の感想を教えて下さい
　心配していたより、意外に全てうまくいったと思います。
外出する自信になりました。ぜひ今度は、さいたまにある鉄道博物館に行ってみたいです。

現場からのひとこと⑨

数年前、周愛利田クリニックの八木先生が、わくわくかんの職員向け研修の講師として来てくださったことがありました。

その時、「病気についての向き合い方」で話をされていたことに、大切なのは「病まないこと」ではなく、「病んでも健康を取り戻せる場所があること」という言葉を聞いて、感銘を受け、今もその言葉を思い浮かべます。

確かに、私たちはどうしても、強迫観念的に「病気になったらダメだ」と考えてしまいがちですが、どんなに気をつけていても、誰もが時には病気になることはあります。

そんな時、人は病むものだから、健康を取り戻せる場所や人（家族・友達・恋人・同僚など）があって、自分のペースで元気になっていけば良い！ということなのです。

「たとえ転んでも、立ち上がってまた歩けばいい」、そう考えると気持ちがラクになりませんか？

（就労支援センター　K.K）

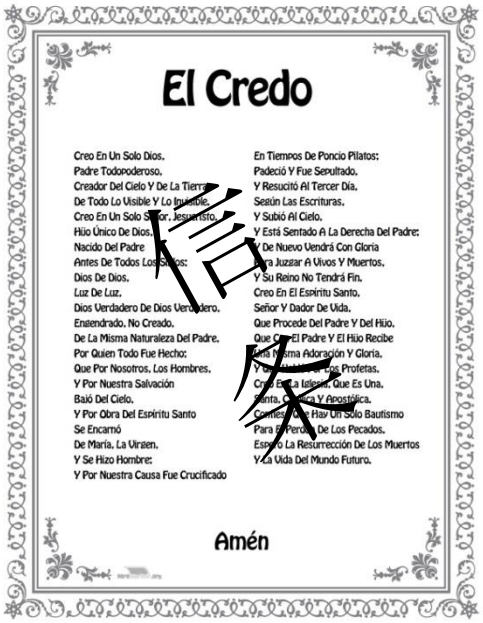
1998年10月9日第三種郵便物認可　　（毎月3回8の日発行）
2018年1月28日発行　　SSKU　　通巻第5996号

作業療法士を目指す学生への
講演の中で、自らを振り返る

対人援助職としてのクレド(信条)を考える

投稿

日々、仕事をする中で、自分自身であったり、所属する事業所の信条(クレド)を意識したことはあるでしょうか。クレドとは、もともとはキリスト教における教理や教義を示す文章のことです。クレドは、現在企業経営においても重要視されており、大手優良企業において、従業員の行動規範をまとめたものをクレドと呼んで普及しています。



クレドの構成は３つに分かれています。それは、ミッション(使命)、ビジョン(目標)、バリュー(価値観)です。ミッションは、企業や個人達成すべき目的、企業や個人の存在価値、ビジョンは、中期的な目標、目的達成に至る途中経過の道標、バリューは、目的を達成するために必要な価値観・行動規範のことです。

使命、目標、価値観の３要素から構成
「石の上にも３年」は理にかなった言葉

個人や企業の存在価値であるミッションが階段の一番高い段にあります。私たちは、それに近づこうとして、日々バリューに沿った行動をとります。途中経過の道標であるバリューに到達して、それを乗り越えて、ミッションへと到達していきます。

現実的な問題として、崇高なクレドがあったとしても、「やる気が出ない」「面倒くさい」と感じてしまうことがあります。いわゆる「モチベーションの低下」という現象です。モチベーションの考え方としては、好奇心や関心など自分の内からなる動機付けである内発的動機付けと、お金や物など外からの報酬からなる動機付けである外発的動機付けの考え方と、ダニエル・ピンク氏が提唱したモチベーション1.0～3.0の考え方を紹介しました。動機づけるワークと悪習慣をやめるワークによって、向上・維持することができますので、３つほど実施しました。

１つ目は、「目標設定とピリオダイゼーション」と言われるワーク。これは、目標に具体性を持たせ、その目標を見える化させるワークです。目標は具体性を持てば持つほど、モチベーションは向上されます。

２つ目は、「行動思考」と言われるワーク。なるべく細かい行動に分けて考えるのです。このワークは、「なんかちょっとやる気が出ない」、「気分が乗らない」などと負の感情が出てきた時に有効です。私自身もこの考え方は普段の生活に利用しています。

３つ目は、悪習慣をやめる「計画と誘惑」と言われるワーク。ちょっとした隙間時間にやることをリスト化しておけば、他の誘惑に負けなくなります。

最後に、「100と10,000の法則」を紹介しました。100の法則とは、「自分のためになる知識を見聞きして、実際に行動できる人は、100人中1人」と言われる法則、10,000の法則とは、「実際に行動できる人は、100人中1人。そして、その行動を継続できる人はさらに100人中1人」と言われています。また、「10,000時間の法則」もあります。

世界的に有名なアーティストや、スポーツ選手がその分野で活躍するための練習にかけた時間は10,000時間だったそうです。これを仕事に換算すると、約3年間。「石の上にも３年」という言葉は、あながちデタラメな数字ではなく、理にかなった言葉だったのかもしれません。

今回の講演を通して、私自身、自分の対人援助職としてのクレドを見つめ直すこともできました。

（臨床心理士・精神保健福祉士　S.H）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2018 年 1 月 28 日発行　SSKU　通巻第 5996 号

ギター弾き語りで創作曲を唄う

私は昨年の忘年会で、ギター弾き語りで出演させて頂きました、しゅがあ百恵と申します。私は幼少期からピアノを習い、13 歳で作詞と作曲を始め、15 歳から独学でギターを弾き始めました。18 歳からは都内のライブハウスに弾き語りやバンド編成で出演するようになり、苦い経験もたくさんしました。

唄わせて頂いた「かたすみ」という曲は、一昨年、いったん音楽から身を引き、少し落ち込んでいる時に書いた曲です。自分の心にはもう春は訪れないのではないかと思いながらも、せめて希望のある曲を作っていれば自分を保てる気がして、2 日間で書き上げました。「かたすみ」という言葉をどうしても入れたかったので、その言葉から歌の主人公の行動や心情を想像して書きました。私の中では珍しく、人に聞かせることを前提としない、祈りのような曲になりました。そして忘年会では、スタッフ N さんにバイオリンで、前奏や間奏に N さんにしか弾けない繊細な音色で、事前に私が指定したフレーズを入れて頂きました。いつもライブハウスの薄暗いステージに立ってきた私にとって、パーティー会場のような明るい場所のステージに立つのは不慣れでしたが、良い経験となりました。

次回の私のライブは、3 月 4 日、新宿ゴールデンエッグ昼の部にて、元シュガーベイブの村松邦男とのユニット「しゅがあ村」として出演予定です。1 ドリンク込みで 1500 円です。私たちは 4 組中ラストをつとめますので、お時間ありましたらぜひお越しください。

「かたすみ」
（作詞・作曲：しゅがあ百恵）

心のかたすみ　小さな花が
私を呼んでる　春の訪れ
光のシャワーを　浴びたら風が
優しく包んだ　あたたかい朝
過去は　変えられないのなら
偽りのない　今を生きるしか
許される術はない
去りゆく貴方の　歌が聞こえる
子猫と一緒に　耳をすました
心のかたすみ　小さな愛を
大事に育てて　空を見上げる

就労支援センター北わくわくかん
登録者（2017 年 12 月末）733 名
就職者 2 名（仕分け業務）

先月　ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京都障がい者就業支援事業所の会・協和冷熱工業株式会社・東京しごと財団・町田の丘学園・㈱ECA・ソウル宣言の会・避難の協同センター・企業組合あうん・社会的企業研究会・日本福祉教育専門学校・戸田中央看護専門学校・彰栄リハビリテーション専門学校等、

多くの方にご協力をいただきました。

グループホームわくわくかん

男性ホーム 1 部屋空きが出ましたので、入居者急募中です。ご希望の方はお問合せください。現在男性 1 名・女性 4 名が入居中です。世話人が高熱でもうろうとしながら、ホームを訪問した日。入居者 I さんは鼻水がずるずるで明らかな風邪症状。年末からずっとこじらせながらも休まずに通所しているそうで、一度休んでちゃんと治すべきと提案した所、「気合で大丈夫だよ！」との返答です。また、就職したばかりの入居者 K さんは風邪を引き、1 日会社を休んで持ち直したそうで「会社を休むのは勇気がいったけど、ちゃんと休んで良かった」と。当の世話人は翌日からインフルエンザで 4 日も休職。入居者の皆さんの見事な風邪対応に頭が上がりませんでした。

▼編集後記▼

ＳＤＧｓという略語は日本ではほとんど知られていない。2015 年、国連総会で採択された「持続可能な開発目標」のことだ。2030 年までに 17 分野 169 分野の達成目標を定めている。17 の目標には、貧困や格差、保健、教育、教育、労働、エネルギー、平和から地球温暖化、生物多様性までカバーされている。目標 1 は貧困をなくすことだが、それは目標８のまともな仕事に基づく経済の仕組みと関係している。JAWW（日本女性監視機構）の織田由紀子さんは「ジェンダー平等とエンパワーメントの達成」が目標５に含まれている重要性を指摘する。17 全ての目標を通じて、ジェンダー平等とは、性別に基づく不公平や不平等がなく、だれもが権利や機会を享受できることだ。市民社会を創っていく大事な普遍的目標だ。東京オリンピックだけに突出するのではなく、日常を組み替える生活者視点の目標設定が大切な時である。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含む）